

## 認知症サポーターになりませんか？

2022年現在、65歳以上の高齢者は5人に1人が認知症になると言われており、2025年には5人に1人が認知症になると予測されています。認知症は誰もがなり得る脳の病気で、単なる加齢による物忘れとは違います。

認知症サポーターとは何か特別なことをする人ではありません。認知症について偏見を持たず、正しく理解し、認知症の方やその家族の方の「応援者」です。名寄市では安心して暮らせるまちを目指し、認知症サポーターの養成を推進しています。今後の見守り活動に向け、ぜひ認知症サポーター養成講座を受け、認知症サポーターになりませんか？

『加齢による物忘れ』と『認知症による物忘れ』の違い（一例）

	加齢による物忘れ	認知症による物忘れ
体験したこと	一部を忘れる 例) 朝ごはんのメニュー	すべてを忘れて 例) 朝ごはんを食べたこと自体
物忘れの自覚	ある	ない
探し物に対して	(自分で) 努力して見つけようとする	誰かが盗ったなどと、他人のせいにする可能性がある
日常生活への支障	ない	ある
症状の進行	極めて徐々にしか進行しない	進行する

※政府広報オンライン「もし、家族や認知症になったら知っておきたい認知症のキホン」より抜粋

上記内容などについて、地域包括支援センターの職員が解説します。コロナウイルスの感染防止対策にも努めておりますので、ぜひお声掛けください！



裏面には皆様の日頃の見守り活動を紹介しております。ぜひ、ご覧になってください！



## 皆様の見守り活動を紹介します！

通信第4号に引き続き、今年4月に実施したアンケート結果をもとに、日頃より見守り活動にご尽力いただいている皆様の見守り活動を紹介させていただきます。アンケートのご協力ありがとうございました！

### なよろうが聞く！あなたの見守り活動について 巻の2



## 明治安田生命保険相互会社 旭川支社名寄営業所

名寄市西4条南7丁目10-1 ☎01654-2-2014

Q1. 日頃どのような仕事をされていますか？

→事前にお客様へ連絡をし、承諾をいただいたお客様のところへ契約内容の確認や新商品のご案内などの活動をしています。

Q2. 地域の見守り活動を行う上で、日頃から心がけていることや工夫していることはありますか？

→日々の営業活動の中で顔を覚えていただいたり、地域住民の方々との交流、情報などを大切にしています。

Q3. 日頃の見守り活動の感想、今後の見守り活動に向けて意気込み等がありますか？

→お客様の中には担当者の訪問を好まない方もいらっしゃいますので、見守り活動の限界を感じる時があります。その中でもお客様から「ありがとう」の声をいただくとやりがいを感じます。

Q4. 日頃の見守り活動以外に行っている活動や事業所のPR等があれば教えてください。

→「みんなの健活」「地域の元気」を2大プロジェクトを中心に、地域住民の健康増進や社会貢献活動を目的としたイベント（血管年齢測定会、タオル・エコキャップ等寄贈）などを開催し、地域のみなさまのお役に立つ活動を心がけています。



道の駅での血圧年齢測定会

社会福祉協議会へのエコキャップ寄贈

明治安田生命は「みんなの健活プロジェクト」と「地域の元気プロジェクト」に取り組めます！

※アンケートをいただいた事業所の中から順不同でご紹介しております。  
次号以降の通信でも皆様の活動をご紹介させていただく予定です。